



オクソン 倶楽部



1990年 夏季号

平家物語との違い

「源氏物語」ばかりでなく「平家物語」の研究もされてはどうですか、といわれたことがある。源氏と平家の武士階級の対立をいっただのである。が紫式部の生きた時代、いまから960年ちかいむかしに「武士」など存在しなかった。紫式部の頃、「源氏」というのは貴族から臣家に降ることを「源氏(けんし)」とよび「げんじ」といわない。「けんし」が「源氏(げんじ)」となまったのは、国守(くにもり)から武士階級になった鎌倉時代である。この歴史の流れをみないで、「源氏物語」を「平家物語」と同列におくのは乱暴だろう。

光源氏といえば女性を次からつぎへと遍歴する男のように誤りつたえているが、光源氏は母の愛情を一度もつけた経験はなく、母性愛を知らずに育っている。父帝の妃・藤壺を理想の女性として心の灯にしていた。親友の頭(とう)の中将の妹葵の上は、光源氏の妃であるが、この夫婦はしつくりしない毎日をおくつ

ている。兄の頭の中將ですら一目おくほど才学なうえ美貌のひとだ。その頃は一夫多妻の世界で9人までめとつてよいのである。貴族は「女御」を5人、「更衣」を4人まで妻としている。女御とは貴族高官の娘であり更衣は貴族ではないがこれに次ぐ官邸高官の娘たちである。この一夫多妻制のうえに、入り婿制度だった。そういう風習と生活を無視し女性探訪ばかりを強調するのはいかがなものか……。

紫式部は光源氏を通じて次の時代、次の社会をちゃんと達見していた。つねに読者へ問いかけている。女性の地位が男性と交錯し、大きな変動に作者は注目している。時がたち女性の不幸な背景を描き込んだ紫式部の達見に脱帽する。

予告
女流作家村山リウさんと語る会を、秋9月20日頃に開かせて頂きます。詳細はオクソンまでお問い合わせ下さい。

源氏物語と私

村山リウ



村山リウさんの略歴
1903年生まれ。87歳。日本女子大卒。NHK女性手帖「私の源氏物語」により放送文化基金賞を授賞された。
谷崎潤一郎の「谷崎源氏」にたいし「村山源氏」として著名である。文筆・評論をいままも執筆中。

暑中お見舞い申し上げます

平成二年盛夏

オクソン



Countess Tpsneen (F. Reynolds)

右の絵皿は、東ドイツにあるドレスデン窯のもので、一八八七年頃、H・WEIYRLによって製作されました。ヨーロッパでの、たび重なる戦下をくりぬけ、今日まで伝えられた、こ

の皿は、ドレスデン窯の作品の中でも貴重なシリーズ美人像絵皿です。当オクソンには、6枚の絵皿があり、シリーズの中の一枚をテレホンカードにしてみました。